



→ **ロートアイアンが広がっています。**

結婚式場、ホテルへのご採用（設計はアルミ鋳物が図面指定されています）



マンションへのご採用（標準として）



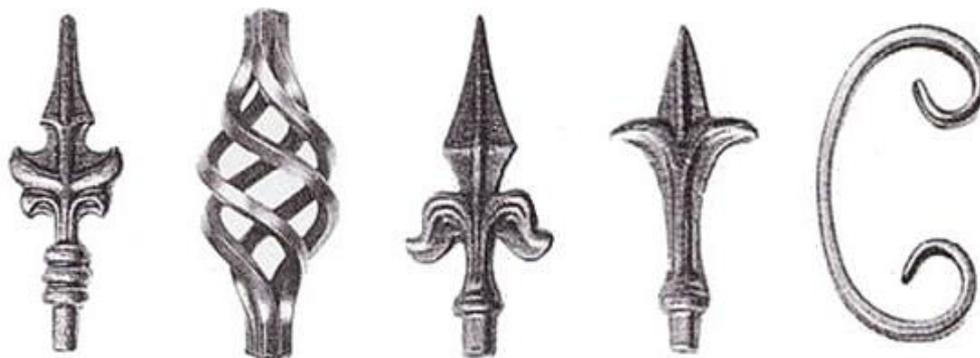
ロートアイアンとは

古くはドイツ・イタリア・イギリス等中世ヨーロッパで好まれていたものです。現在の日本では、本物感の為、愛好家はいましたが、ヨーロッパからの輸入製品の段階で非常に値段が高いものであったため、簡単には採用できませんでした。そこで装飾的に似たような製品であるアルミ鋳物(パネル、手摺子)が殆どの建物で使われていたのです。

ところが、このヨーロッパ内のロートアイアン製作の大部分、特に汎用品ともいうべき分野には中国の商品が輸出されていたことがわかり、中国輸入を始め、その結果、日本でも次第に使われるようになってきました。現在ではブームが起きています。

中国では、ロートアイアンの工場製作には国から与えられた免許が必要です。これにより製品品質レベルを損なうことの無いように指導しているわけです。

ロートアイアンの主な部品の一部をご紹介します。



ロートアイアンは工芸品？

確かに工芸品です。したがって正確に分類すると、「イタリア・ドイツの鉄材を輸入し、ひとつひとつの手作りを行い、芸術家によるデザイン、塗装が売り物のロートアイアンが本物だ」という会社があります。しかしそれでは値段が高いたけの高級住宅でしか採用できない芸術品そのものです。

私達は、中国の勤勉な技術に加え、高い生産効率をもったロートアイアン製作を進める事により、できるだけコストダウンを図っています。

ロートアイアンの手摺を見ていると、装飾過剰とも思えるものと、シンプルなものがあります。今までの日本でのご採用事例では、案外シンプルな製品が多く出ています。もちろんそのほうが値段的に安くなります。

デザインの多くはお客様から頂きます。私達は事例と経験から、コストダウンの方法、デザインの選択などを提案いたします。当社のロートアイアンは「できるだけ多くの方に、無理のない予算で満足して頂きたい」という点に絞ってお勧めしています。



ロートアイアの「ロート」ってどういう意味？



Wrought(workの過去分詞)=念入りに仕上げられた・装飾の施された・打って作った

ロートアルミ

ロートアイアの同等の製作技術を用い、材料をアルミで加工したものが「ロートアルミ」です。

● ロートアイアが多く使用される国は、「フランス」「イギリス」「カナダ」と「オーストラリア」など。

現在、殆どが中国からの輸入品です。

(人件費コストと労働条件から先進国では生産コストが合わないためです)

● 今までも輸入商社を通じて日本国内に入ってきていましたが、たくさん問題がありました。

従来なら	株式会社イブニーズなら
値段が高い。フランスからの輸入等。中国からの直接ではなく大きな無駄がありました。	中国から直輸入しかも生産工夫により、単価を大きく落とせました。
取引の支払条件に無理がありました。よくあるケースでは、契約時に半分現金。のこり半分は製品受け取り時に支払うなどです。	通常のお取引条件で対応可能です。
いったん手配をかけると後は先方任せ。確認、連絡が素早くできません。 図面、デザイン提案等は全くできません。輸入品として扱うだけでした。	中国の生産工場の担当者は日本での業務経験があり、日本品質を把握した者が対応いたします。また、現在の製作状況、輸送状況をすぐ連絡でき、お客様のご希望に沿ったご提案をさせていただきます。
	ぜひ、ご相談ください。お待ちしております。

商品のお問い合わせ・見積りのご依頼は

株式会社イブニーズ 担当:中山まで

TEL092-474-0650

FAX092-474-0656